

会 議 録

会議名		令和7年度 第3回大野北地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所 大野北まちづくりセンター 電話 042-861-4512		
開催日時		令和7年9月30日(火) 19時00分～20時25分		
開催場所		大野北公民館 大会議室		
出席者	委員	20人 (別添のとおり)		
	その他	5人 政策部(淵野辺駅南口周辺まちづくり担当)、政策課、都市計画課2名、交通・地域安全課		
	事務局	2人 大野北まちづくりセンター所長、同主査		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	3人
公開不可・一部公開不可の場合は、その理由				
会議次第		1 会長あいさつ 2 行政からの連絡事項 (1)「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり」の進捗状況について(政策部・政策課・都市計画課) (2)路上喫煙について(交通・地域安全課) 3 議 題 (1)まちづくりを考える懇談会のテーマについて 4 出席委員からの情報提供 5 その他 (1) 次回日程について		

審 議 経 過

1 会長あいさつ

山口会長からあいさつ

2 行政からの連絡事項（○は委員の発言、●は市の発言）

（１）「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり」の進捗状況について

●令和７年６月に実施した民間事業者への事前アンケートの結果等を踏まえ、第１ステップの事業手法については、施設の設計や建設及び建物の維持管理から実際の運営等、民間事業者の資金や経営能力を活用して、効率的かつ効果的に実施するために、市民サービスの向上やコストを削減していくＰＦＩ手法を基本とする。

また、民間活力を導入することで、効率的な施設の維持管理や効果的なサービスの提供を目指すとともに、引き続き、市が直接実施すべきものについては、これまでと同様に直営とする。

現在、市では事業の目的や範囲、民間事業者との役割分担や事業者選定の手続きなどを定めた実施方針の策定、また、民間事業者に対して市が最低限求める施設やサービスの水準を定めた要求水準書案の公表に向けて準備を進めている。

なお、民間事業者からは、昨今の経済事情による人手不足や働き方改革関連法に伴う労働環境の変化により、工事期間を長く設定する必要があるとの意見を踏まえ、令和１２年度に複合施設の一部供用開始、令和１５年度に鹿沼公園の全面供用開始としてスケジュールの見直し等を図るとともに、可能な限り公園施設を供用しながら施工し、整備が終わった場所については、先行して供用を開始していく。（政策課 横溝主査）

●日本大学主催で、地域課題の把握・分析・提案を行うことを目的とした「まちづくりワークショップ」について、全３回のスケジュールを終えることが出来た。

最終回では、淵野辺のまちの絵姿を検討成果として班ごとに発表があり、地域の皆さんからも多くのご意見やご質問をいただき、実りのある発表会となった。

今後は発表したポスター等を公民館に展示するので、是非ご覧いただきたい。（都市計画課 磯総括副主幹）

○複合施設において公民館の貸室業務等が民間事業者の運営になると、貸室予約の方法等はこれまでと別の方法になるのか。（高橋委員）

●貸室の予約方法については、これまで通りＳネットを使う方法で調整している。（政策部 太田参事）

○スケジュールの見直しについては、令和１１年度中の一部供用開始は無くなり、完全に１年遅れるということか。（小方委員）。

●民間事業者にスケジュールを示したところ、昨今の人手不足や働き方改革等の経済事情から、工期に余裕をもってほしいという要望があった。

市としても致し方無い部分ではあるが、今後、事業者が工期を短縮するような提案に期待したいと考えている。（政策部 太田参事）

○長い年月をかけて進めてきた中で、工期についても１年遅れるのはどうなのか。

事情があるにせよ、できるだけ早く作ってもらいたいし、そういった努力をしてほしい。（小方委員）

- 民間事業者から工期を短縮するような提案があれば、市としても積極的に検討していきたいと考えている。(政策部 太田参事)
- あさひ児童館に隣接する建物の解体工事が進んでいる件について、前回のまちづくり会議においても、淵野辺駅南口周辺の一帯は再開発等の検討が決まっている中で、そういった近隣地に建設される新たな建物については、今後の再開発等を見据えた形で、地域の意向に沿った要望を伝えていく必要があるのではないかと提案をさせていただいた。
その後、市では、近隣地の開発についての状況把握や行政指導等で動いているのか。(小方委員)
- 民間事業者が土地を取得して行っている事業であり、市として詳細な今後の計画等は把握していない状況である。
第2ステップである駅前自転車駐車場の再整備を含む駅前市有地の有効活用については、今後、新たな基本計画の策定に向けて検討していくが、時間軸としてはこうした民間事業の計画が出てくれば、そちらが先行する場合があると認識している。(都市計画課 三村課長)
- これまでも第2ステップについては、事業全体として並行して進めてもらいたいと意見しているが、今回の隣接地における民間事業者に対して、淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて、市の行政指導等で協力要請をしていただくものと思っているが、市ではその考えは全くないのか。(小方委員)
- 民間事業者に対しては、今後、第2ステップの具体的な方針として、複合施設整備後の跡地活用等の方向性について説明する機会があるかもしれないが、現時点において、既に解体工事を行っている民間の土地に、市が何か行政指導等を行っていくということは難しい。(都市計画課 三村課長)
- これまでも地域としては、何年もこのまちづくり会議や様々な場面で、色々と意見を伝えてきて、良いものを作りたいという思いで問題提起をしてきたが、それでも行政として民間事業者に対して何も言えないということか。(小方委員)
- 繰り返しになるが、民間事業者が土地を取得して、自らの事業計画に基づき検討された開発計画に対して、まだ第2ステップの具体的な取組内容が定まっていないところでは、現時点の方針である複合施設整備後の跡地活用等の方向性を共有することは可能であるが、民間事業者の事業計画に対して、変更や中止を求めることは難しい。(都市計画課 三村課長)
- これまでもパブリックコメント等で、色々と市民向けに実施している中で、近隣の開発計画に対して、市として何も言えないということであれば、それまでである。それならば地域として、民間事業者と色々と調整をしたいと思うので、市の方でその辺の協力をしていただける考えはあるのか。(小方委員)
- 市としては、どのように関わることができるのかも含め、一旦は意見としてお預かりする形になる。(都市計画課 三村課長)
- これまでの話を踏まえると、近隣地の建物を解体するのに、当然に周囲には挨拶があつて然るべきだと思うし、解体するのにかなりの時間がかかるだろうし、騒音や振動等リスクにさらされる危険があるので、そういった部分に対して市として指導すべきだろうと思う。
それ以外のところでは、市として動くのは厳しいと思っている。(山口会長)
- この件については、まちづくりセンターと調整をさせていただければと思う。(政策部 太田参事)

○大野北地区内には3つの大学が立地しており、このまちづくり会議でも色々と検討してきた中で、今回の近隣地である桜美林大学の土地が売られ、あさひ児童館に解体業者が挨拶に来たが、解体に14ヶ月かかることやマンション業者が購入したので、跡地にはマンションが建つと推測される。

商業地域にマンションを建てることは、法的に可能であり、都市計画上の違反は無いかもしれないが、本来なら、今後の駅前市有地の跡地利用を見据え、法的なことではなく、民間事業者が地域と一緒に協力していくような行政指導等をしていただきたいと思う。

市は、今回の開発計画の状況を把握しておらず、今後、機会があったら淵野辺駅南口周辺のまちづくりの話をするということでは、手遅れになってしまうのではないかと心配している。

淵野辺駅周辺を良くして後世に残すということであれば、実際に近隣地も含め、本当に良いものができるのかを心配している。

地域と一緒に協力してまちを作っていこうという部分がある中で、何年も何年もかけて検討してきたので、地域の意見が反映されず手遅れになるのではないかと危惧している。(小方委員)

○PFI手法における設計建設については、どのような形で行っていくのか。(佐藤委員)

●一括して民間の事業者に提案いただく形で検討している。(政策部 太田参事)

○これまでと同様、まちづくり会議等の地域の意見を汲んでいただきながら、進めていただけたらと思う。(佐藤委員)

●複合施設を建設するに当たり、現在、要求水準書の作成を進めているが、内容については、これまでの地域の意見を汲んでいるので、今後は、市として要求水準書の通りに計画が進んでいるか、しっかりとモニタリングをしていく。(政策部 太田参事)

○ある程度、設計が見えてきたら地域に提示していただき、様々な団体の視点から確認したいと考えている。(山口会長)

○公民の役割分担では、鹿沼公園における防災の位置付けについて、どのように考えているのか。(宮津委員)

●鹿沼公園は、広域避難場所の機能があることや複合施設における避難訓練の実施など法令に基づくものは、要求水準書の中に示していく。(政策部 太田参事)

(2) 路上喫煙について

●相模原市路上喫煙の防止に関する条例に基づき、新設された保育所やこども園等のうち、指定基準に該当する施設の外周道路の追加や名称の変更告示を行うには、関係機関及び関係団体の意見聴取が必要であるため、本日伺った。実際には共和1-4-3付近のふちのべ美邦こども園周辺を路上喫煙禁止地区追加指定し、併せて、これまでの淵野辺保育園周辺から愛の園ふちのべこども園周辺に名称変更したい。(交通・地域安全課 渡辺総括副主幹)

○市内では禁止地区以外で路上喫煙して良い場所があるのか。(柿沼幹事)

●路上喫煙禁止地区以外の場所については、努力義務となっている。(交通・地域安全課 渡辺総括副主幹)

○公園内は喫煙が禁止されているが外周はどうか。(鈴木副会長)

●路上喫煙禁止地区の指定以外場所において、喫煙することは特段問題ないが副流煙などの2次被害の観点から、指定された場所にてお願いしたい。また、禁止区域では防犯指導員が定期的に見回りを行っており、過料を科すことも出来る形をとっている。(交通・地域安全課 渡辺総括副主幹)

○大野北地区においては特に喫煙者を多く見かけるので、この条例が市民に認知されているのか疑問である。(加瀬委員)

●特に防犯指導員は市内の禁止地区を順次定期的に巡回しており、喫煙を見かけた際は注意を行っているが、見回りを強化更なる巡回などの要望があれば情報提供をお願いしたい。(交通・地域安全課 渡辺総括副主幹)

○淵野辺駅南口に喫煙場所があり、朝方の時間帯、特に通学の時間帯は副流煙の影響で小学校の登校班ルートを変更したこともある。衝立等で完全には包囲されていないので煙や匂いなど子どもたちに悪影響があるので対策をしてほしい。(亀川委員)

●現在の喫煙場所は、衝立等で完全に包囲されてなく少し狭いので利用者が多いときは、周囲に煙が出ていることは承知している。今後は相模原駅と相模大野駅において、J Tと協定を結び、煙等の対策として吸う人も吸わない人にとってもより良い喫煙場所になるよう改良工事を予定しているので、地域の意見を伺いながら他の地区においても順次実施していきたいと考えている。(交通・地域安全課 渡辺総括副主幹)

3 議 題

(1) まちづくりを考える懇談会のテーマについて

・懇談会に係る「大野北地区まちづくりを考える懇談会 地域の未来を語ろう with 市長」テーマについて提案し委員から了承された。

テーマ：鹿沼公園のリニューアルについて

・本件について、委員からの質問はなし。

→原案のとおり承認された。

4 出席委員からの情報提供

・手作りマルシェフェスティバル開催（10月19日（日）10：00～16：00）の案内があった。

・国際交流ラウンジから大野北公民館にて国際交流フェスティバル開催（10月5日（日）10：00～16：00）の案内があった。

5 その他

(1) 次回日程について

今回は、令和7年11月25日（火）午後7時から開催予定である旨を事務局から報告した。

以 上

令和7年度 大野北地区まちづくり会議委員出席者

No.	氏 名	所属団体等の名称	出欠席
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	出
2	小川 紳夫	大野北公民館	出
3	望月 規男	大野北地区民生委員児童委員協議会	出
4	鈴木 基之	大野北地区社会福祉協議会 大野北地区自治会連合会	出
5	柿沼 秀康	大野北地区自治会連合会	出
6	田加井 政勇	交通安全協会	出
7	岡 純正	大野北地区老人クラブ連合会	出
8	大森 一郎	相模原市消防団中央方面隊第3分団	欠
9	阿部 正之	さがみはら国際交流ラウンジ	出
10	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	出
11	高橋 美保	青少年指導委員大野北地区協議会	出
12	長谷川 文代	スポーツ推進委員大野北地区協議会	欠
13	彦坂 克則	小学校	出
14	高橋 豊	中学校	出
15	亀川 美里	小・中学校PTA	出
16	鴨志田 壽生	青山学院大学	欠
17	山岸 優之	桜美林学園	出
18	前田 高志	麻布大学	出
19	宮津 敏信	ボランティアグループ	出
20	伊藤 憲秀	大野北第1地域包括支援センター	出
21	加瀬 剛広	大野北第2地域包括支援センター	出
22	佐藤 幸一	にこにこ星ふちのべ商店会	出
23	櫻内 康裕	淵野辺駅南口商栄会	欠
24	座間 均	相模原市農業協同組合淵野辺支店	出